

トップメッセージ

売上計上が下期以降となった案件等が
ありましたが、量産効果やコスト削減等の
好転要素が利益を押し上げました。



代表取締役社長
小俣 邦正
Kunimasa Omata

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）における世界経済は、全体としては緩やかに回復しているもののアジアや欧州で一部弱さが見られました。今後も回復継続が期待されるものの、景気拡大を続けてきた米国経済が米中貿易摩擦長期化の影響等により減速感を示し始めており、先行き不透明感が強まりました。国内経済は、堅調な企業収益や着実に改善している雇用情勢等を背景に緩やかな回復が続くことが期待されていますが、米中貿易摩擦の影響や欧米の利下げによる円高懸念や消費税増税の消費への影響など先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、第5世代移動通信システムの本格稼働が目前に迫り、自動車の電装化の進展が加速する中で、電子デバイスメーカ各社の製品開発への取り組み姿勢は継続しました。当第1四半期には慎重な姿勢が見られた増産設備についても、業界により濃淡はあるものの投資への動きが出てきました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進する

とともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。次世代製品に向けた電子デバイスメーカからのサンプル成膜の依頼や共同開発にも積極的に取り組むことで事業の拡大を図りました。また、相模原工場内に新たに建設することとなった新開発棟の建設工事は順調に進捗しました。

生産面では、受注残を背景に工場は安定稼働で推移しました。メンテナンス性改善や社内検査による工程ごとの品質作りこみを継続することで装置の初期不具合の削減に努めるとともに、不具合発生時の早期解消に取り組みました。

損益面では、売上計上が下期以降に延期となった案件が複数発生したことやサービス事業の受注が低迷したこと等により売上高は上期予想数値を下回りましたが、生産効率化による量産効果や案件ごとのコスト削減、追徴費の抑制等が好転要素となり利益を押し上げました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は49億77百万円（前年同四半期比5.2%増）、売上高は50億31百万円（同10.8%減）となりました。

損益につきましては、経常利益5億85百万円（前年同四半期比15.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億8百万円（同7.6%減）となりました。

決算ダイジェスト

売上高

5,031 百万円

営業利益

601 百万円

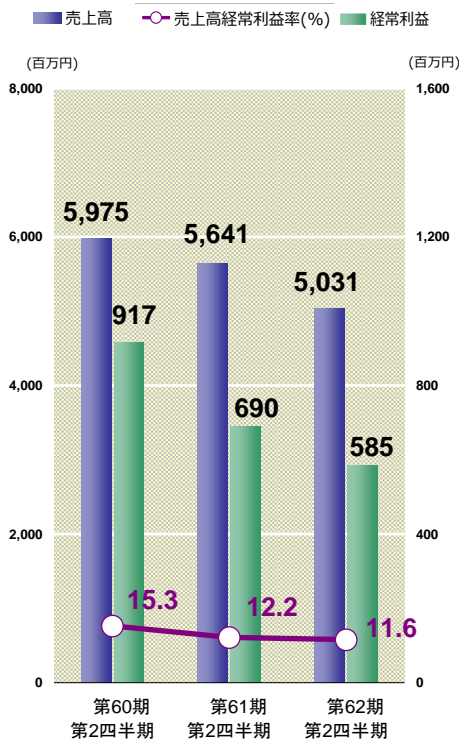
経常利益

585 百万円

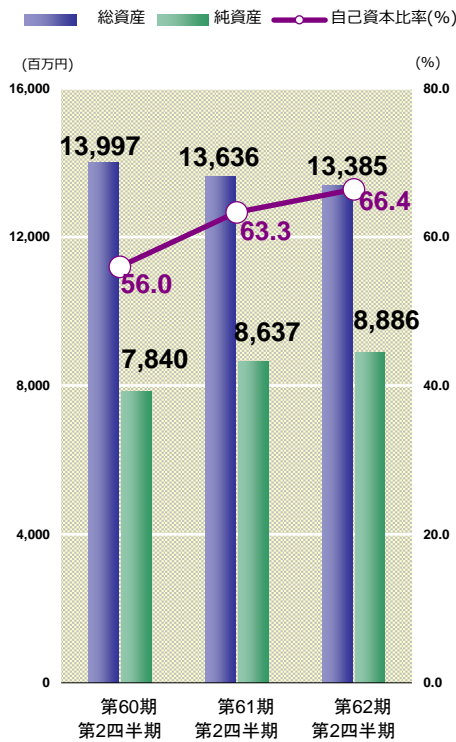
親会社株主に帰属する
四半期純利益

408 百万円

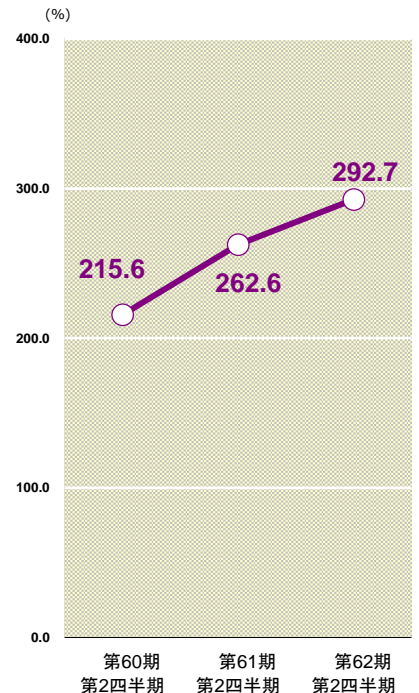
売上高・経常利益・売上高経常利益率



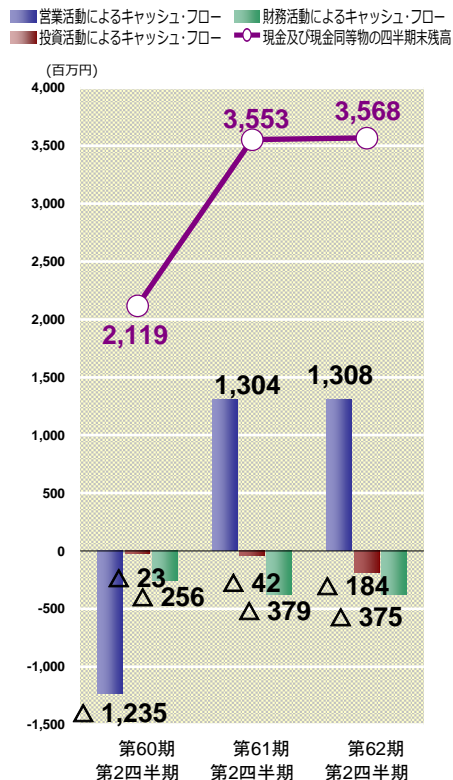
総資産・純資産・自己資本比率



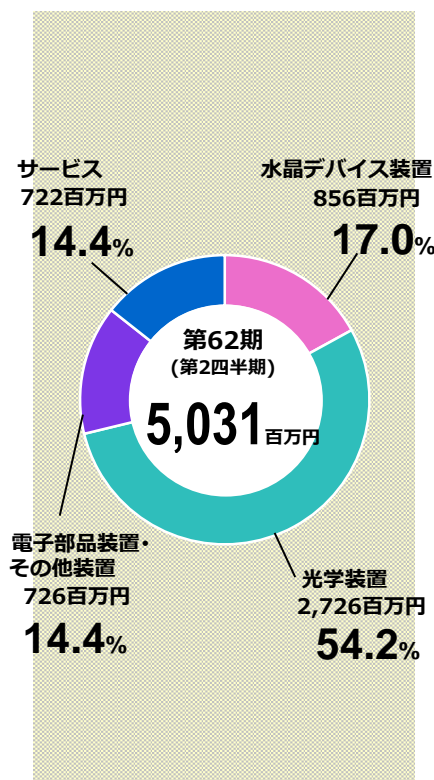
流動比率



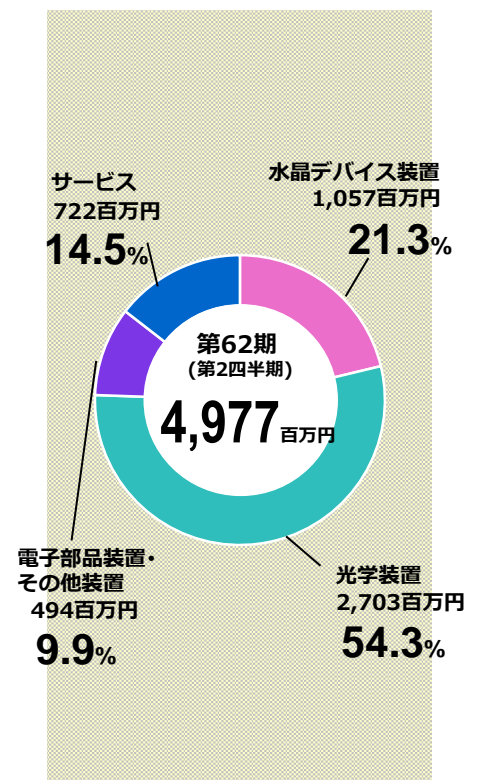
キャッシュ・フロー



品目別売上高構成比



品目別受注高構成比

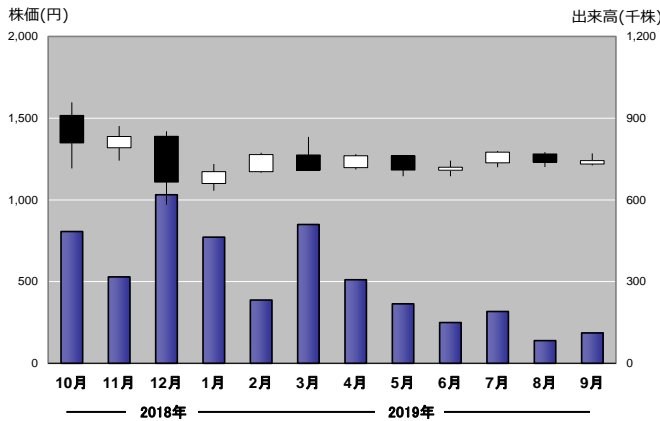


□ 株式の状況

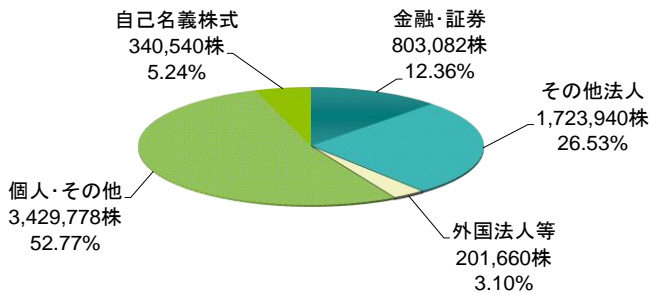
発行可能株式総数.....13,800,000株
 発行済株式の総数.....6,499,000株
 株主数.....4,448名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.59
小俣 邦正	602,100	9.78
有限会社小俣興産	341,440	5.54
株式会社昭和真空	340,540	—
昭和真空従業員持株会	180,452	2.93
小俣 佳子	160,000	2.59
株式会社三菱UFJ銀行	145,000	2.35
日本生命保険相互会社	115,200	1.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	106,000	1.72
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55

□ 株価および売買高の推移(月次)



□ 所有者別株式状況(株式数)



□ 株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

基準日 3月31日
 その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め
 公告いたします。

配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当金の支払を行う時は9月30日

公告掲載方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告
 によることのできない場合は日本経済新聞に掲載する。
 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

□ 会社の概要

商号 株式会社昭和真空
設立 1958年(昭和33年)
資本金 2,177,105,200円
従業員数 195名
営業種目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの
 総合的な真空関連装置並びに真空機器等
 真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンプレーティン
 グ装置、ALD装置、ドライエッチング・アッシング装置、
 真空冶金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜
 用モニター(多色式、単色式)、IAD冷陰極イオンソース、
 液晶注入装置、その他

取引金融機関 三菱UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、
 きらぼし銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

□ 事業所

本社・相模原工場
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10
 TEL. 042-764-0321 / FAX. 042-764-0329

□ 役員

代表取締役	小俣 邦正
執行役員社長	
取締役執行役員常務	市川 正
取締役執行役員	高橋 理美
取締役執行役員	久島 博美
取締役執行役員	田中 彰一
社外取締役	末代 政輔
社外取締役	山本 雅子
常勤監査役	村木 由之亮
社外監査役	千葉 睿一
社外監査役	清水 雅人

□ グループ会社および関係会社

[グループ会社]

昭和真空機械(上海)有限公司
 ・ 所在 中国上海市
 ・ 主な事業内容 当社装置の生産

昭和真空機械貿易(上海)有限公司
 ・ 所在 中国上海市
 ・ 主な事業内容 当社装置・部品の販売、
 サービス・メンテナンス

株式会社エフ・イー・シー

・ 所在 埼玉県狭山市
 ・ 主な事業内容 マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売

[関係会社]

Sansei-Showa Co., Ltd. USA
 ・ 所在 米国オハイオ州



□ IRカレンダー

11月 第62期 第2四半期決算発表	6月 第62回 定時株主総会
2月 第62期 第3四半期決算発表	経営報告会
3月 31日 第62期 決算日	有価証券報告書提出
5月 第62期 決算発表	8月 第63期 第1四半期決算発表
	9月 30日 第63期 第2四半期 決算日